

上下水道ものしり塾

出前講座編



5月30日より7月8日まで、市内の小学校4年生を対象に、上下水道の出前講座（訪問授業）を行いました。上水道講座30校68クラス、下水道講座33校82クラスで実施され、小学生から出た質問のうち、いくつかをここに掲載します。

Q 地球では1日にどれくらいの水を使いますか？

A 世界の1日の使用量は約98億トンを、ちなみに豊橋市では1日に約12万トン（学校のプール約400杯分）使用しています。

Q みんなが使って汚れた水が下水管を流れるスピードはどれくらいですか？

A 時速4～6kmです。これは人が歩くくらいのスピードです。

Q 地下水と温泉はどう違うのですか？

A 地下水が湧き出る過程で熱や化学成分を含むものを温泉と呼ぶそうです。

水道水をよりおいしく飲むために

冷却法

冷蔵庫に入れて、10程度に冷やす。

くみおき法

寝る前に水道水をヤカン等にくんで、よく振ったあと、ふたを開けて一晩おく。

煮沸法

ヤカン等で、沸騰させ、ふたを取って3分以上水蒸気をとばす。

『くみおき法』や『煮沸法』のあと、『冷却法』により更においしくなります。

『くみおき法』や『煮沸法』は、水道水に入っている塩素成分が減り、カルキ臭が減少するためおいしくなります。ただし、塩素成分が抜けているため、雑菌が繁殖しやすくなりますので早めにお飲みください。

保管容器はガラス瓶が適しています。プラスチック容器（ペットボトル等）は、前に入っていたものの臭いが残りやすいからです。



有効資源のリサイクル ～下水汚泥肥料「のんほいユーキ」をどうぞご利用ください～

下水処理で発生する汚泥を乾燥した下水汚泥肥料「のんほいユーキ」は、有機質をはじめ、窒素・りんなどの肥料としての有効成分を含んでおり、畑や家庭菜園用に幅広く利用できます。肥料取締法に基づく普通肥料として、適正な品質管理のもとに製造していますので安心してご利用ください。

中島処理場（神野新田町字中島75-2）にて、市民の方に無料で配布しています。

利用時間 平日 9:00～12:00 13:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始はお休みします。）

ビニール袋等は各自でご持参ください。スコップは用意してあります。

また、高根処理場（高塚町）豊南処理場（西赤沢町）五並処理場（細谷町）野依浄化センター（野依町）下条浄化センター（下条東町）雲谷・中原浄化センター（中原町）五号浄化センター（神野新田町）においても「汚泥肥料」を配布しています。詳しくは、下記までお問合せください。

【お問合せ】下水道施設課（中島処理場内）
TEL.46-2854



水源の森を守る取り組み ～安定した水道水の供給のために～

私たちの水道水は、75%を豊川に依存しています。その水の源となるのは、「緑のダム」ともいわれる豊川上流域の森林です。このため、私たちの生活に結びついている豊川上流域の水源の森を大切にしておく必要があります。

豊橋市をはじめ東三河の市町村は、水道料金のなかから1㎡あたり1円を森林の保全事業に活用し、将来にわたり水道水の安定供給ができるように、豊かな森林を守るための取り組みをしています。

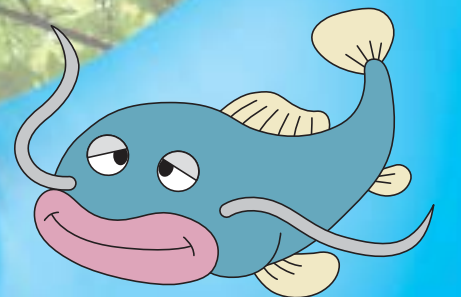
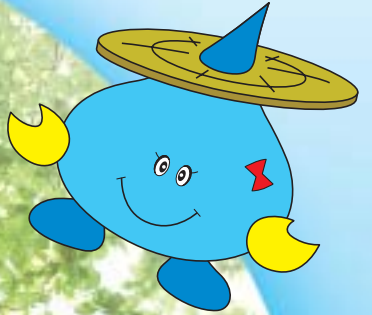
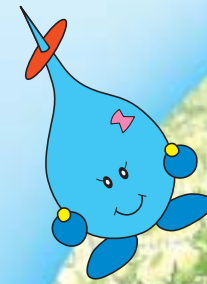


上下水道局だより

発行 平成17年10月15日 豊橋市上下水道局 〒440-8502 牛川町字下も田29-1 TEL51-2761

No.4

特集「地震が起きたら～上下水道の応急対策～」



URL <http://www.city.toyohashi.aichi.jp/water/>
E-mail water@city.toyohashi.lg.jp

「上下水道局だより」について、ご意見や感想をお待ちしています。

